

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	金婚慶祝会事業		事業コード	0440
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室	担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	藤根 卓夫
			電話番号	3567

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者の社会参加の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 金婚慶祝会事業(007-07)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 平成5年度～)					
事務事業の概要	結婚50周年を迎える夫婦の健康と長寿を願い、金婚慶祝者が一堂に会する会を催す					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成5年10月27日に市及び盛岡市老人クラブ連合会の共催で開催された当該金婚慶祝会が現在に至っている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
募集方法についての検討を求められている						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
18年度に会費制を導入して参加者が一次減少したが、近年増加傾向にある						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	結婚50周年を迎える夫婦	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 結婚50周年を迎える夫婦(申出者)	単位	組
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市と盛岡市老人クラブ連合会が共催し実施する。結婚50周年を迎える夫婦で申出のあった夫婦に対し金婚慶祝会出席の案内状を送り、参加者の長寿を祝う。なお、事業全体に係る統括業務は市が、アクション関係及び老人クラブでの参加者取りまとめは盛岡市老人クラブ連合会が行う。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 金婚慶祝会参加対象夫婦	単位	組
				B. 共催負担金(市・市老連)	単位	千円
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	結婚50周年を機に、今まで以上に生きがいのある生活を送っていただく。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 金婚慶祝会参加夫婦 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	組
				B. 記念品のみ郵送となる夫婦 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	組
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	生きがい活動をしている高齢者数(単位:人) シルバー人材センター登録率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	結婚50周年を迎える夫婦(申出者)	組	140	132	139	174	170	170	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	金婚慶祝会参加対象夫婦	組	140	132	139	174	170	170	年度
活動 指標B	共催負担金(市・市老連)	千円	1797	1649	1766	2035	2071	2071	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	金婚慶祝会参加夫婦	組	140	132	139	174	170	170	年度
成果 指標B	記念品のみの郵送となる夫婦	組	106	91	96	96	90	90	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,797	1,649	1,766	2,035	2,071	2,071	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,797	1,649	1,766	2,035	2,071	2,071	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,797	1,649	1,766	2,035	2,071	2,071	*****
延べ業務時間数		時間	500	500	350	350	350	350	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	2,000	2,000	1,400	1,400	1,400	1,400	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,797	3,649	3,166	3,435	3,471	3,471	*****

3. 事務事業の評価(See)


必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 夫婦が互いに慈しみながら健康的な生活を送ることにより、生きがい作りや社会参加へ繋がる
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 市老人クラブ連合会との共催事業であり、高齢者の生きがいづくりの支援を通じた社会参加の促進は市の役割である ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 事業対象は金婚夫婦である ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 金婚夫婦の健康と長寿を祝う目的に合致している ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 参加者の増加に向けた方策の検討
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市老人クラブ連合会との共催事業であり、市が事業廃止をすると事業存続への影響が生じる
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既に参加者に対して会費を求めている事業展開であり、これ以上の削減は困難である
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 周知、参加申し込みの事務処理である
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 金婚式該当者すべてを対象とし、同一条件で希望者を募っている
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 参加者からの会費を徴収している

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 周知方法についての検討 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り、反省点) 生きがいづくりの取組みとして、事業の必要性は高い。社会的にも市民の感心が高い事業であり、事業実施の意義を含めて周知を促進し、参加夫婦の増加を図る必要がある。
------	--	---

今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
		
方向付けの理由と改革改善の内容 周知方法の工夫を行なう。		